

会 議 名	令和3年度 第3回 板橋区産業活性化推進会議
開 催 日 時	令和3年12月8日(水) 17時30分から19時30分まで
開 催 場 所	区役所 災害対策室A B
出 席 者	14人 〔委員〕 植田浩史氏 堀田和彦氏 額田春華氏 大島隆夫氏 木田孝雄氏 岩月宏昌氏 木村博之氏 樋口晃久氏 千種伸彰氏 鈴木眞由美氏 堺由隆氏 〔区側出席者〕 小林課長 藤原支所長 〔産業振興公社〕 大森事務局長
会議の公開(傍聴)	<u>公開(傍聴できる)</u>
傍 聴 者 数	1人
議 事 内 容	第3回会議 1 会議の公開について 2 議題 (1)板橋区産業振興事業計画2025原案について (2)構想進行管理の流れについて
配 布 資 料	1 板橋区産業振興事業計画2025原案について 2 板橋区産業振興事業計画2025<原案> 3 構想進行管理の流れについて 4 板橋区産業活性化推進会議(第6期) 委員名簿 冊子 板橋区産業振興構想2025・板橋区産業振興事業計画2018 冊子 板橋区産業振興事業計画2021
所 管 課	産業経済部 産業振興課 工業振興係 (3579-2193)
以下、議事要点	
○会議の公開について 会長から付属機関等の会議の公開に関する基準に基づき公開されることを説明した。 ○議題(1)板橋区産業振興事業計画2025原案について 小林課長から資料1～2に基づき産業振興事業計画2025原案について説明した。	

[主な意見]

- ① 区内の商業をみると、依然として厳しい状況が続いており、コロナ終息後も元通りにはならないと考えられる。引き続き区の支援をお願いしたい。

答弁：国や東京都の動向を踏まえながら、区・公社が一体となって区内経済の維持・継続と回復を後押しするとともに、ウィズコロナ・ポストコロナ社会へ向けた産業構造や事業活動の変化への対応を支援していく。

- ② 複数の駅で周辺開発が進んでいる。既存の商店街と連携して検討を進めてもらいたい。

答弁：駅周辺開発については、関係部署と連携を図りつつ、各商店街の意見を踏まえながら進めていきたい。

- ③ 板橋のいっぴん事業のリニューアルについて、具体的にどういった方針で進めているのか。

答弁：具体的な方針については未定。他自治体の取り組みなどを研究しながら進めていきたい。

- ④ SDGsの推進や板橋のいっぴん事業について、例えば学生と協力して検討を進めていくのはいかがか。学生にとっても経験になるし、若い世代が区の産業振興施策に興味を持つ良い機会にもなる。

答弁：大学・学生と協力できないか、様々な事業で考えていきたい。

- ⑤ キャッシュレス化について、金融機関との連携も視野に検討を進めてもらいたい。

答弁：昨年度、今年度はP a y P a yを使った還元キャンペーンを実施した。来年度からはキャッシュレス決済推進事業を計画している。必要に応じて各金融機関とも連携して事業を進めていきたい。

- ⑥ パブリックコメントの結果が1人2件では少なすぎる。パブリックコメントの手法は今後検討してもらいたい。また、パブリックコメントとは別に、様々なかたちで区民・区内事業者の意見を聞く機会を設けていくべき。

答弁：今年度から地域センターにパブリックコメントの案内を配置するなどの改善を行ったが、1人2件という結果となった。周知方法については今後も検討していく。また、区民・区内事業者の意見を聞く機会として、アンケートなどの手法も今後検討していく。

○議題（2）構想進行管理の流れについて

小林課長から資料3に基づき今後の計画策定に至るまでの流れについて説明した。

[その他全体を通して]

- ① 農地を残すためには農家の努力とともに区の協力が必要。今後も様々なかたちで区の協力をお願いしたい。

- ② 深谷市では産業振興の柱としてアグリテック構想を打ち立て、ベンチャー企業と協力して積極的な事業展開をしている。区の農業振興を考えていくうえで参考にしてもらいたい。

答弁：深谷市の事例を参考にしながら、今後も農業分野のみにとどまらず産業振興

課や公社とも協力して事業を展開していく。

- ③ 事業を実施する際は、期限を設けて計画的に進めてもらいたい。

答弁：令和4年3月の策定時には各事業の年度ごとの具体的な実施計画を記載する予定。

- ④ 昨年度、今年度実施した P a y P a y の還元キャンペーンについて、事業実施後、P a y P a y を解約する事業者もみられる。中長期的に持続可能なキャッシュレス化を推進してもらいたい。

答弁：地域独自通貨等、様々な選択肢から区内事業者にとって最適なものを検討していく。

- ⑤ 日本製鉄跡地が物流施設になる可能性もある。周辺道路は片側一車線で狭く渋滞が懸念されることから、交通インフラの点も含めて先方と協議を進めてもらいたい。

答弁：交通インフラの点も含め、関係部署とも協力して協議を進めていく。

- ⑥ 区内事業者が製造にあたって必要な原材料などを、区が仕切って共同で購買する仕組みを検討してもらいたい。

- ⑦ 今後も農業・工業・商業の連携を深め、区民に発信してもらいたい。

答弁：体験農園や学校給食への区内産野菜の提供など、様々なかたちで区民へ発信していく。

- ⑧ 区内事業者の目の前の課題解決、区内事業者の長期的なビジョンの形成支援、連携やブランドづくりを通じた地域の付加価値の向上という3つの視点を意識して発信してもらいたい。

- ⑨ 産業振興事業計画 2025 で示した4つの展開がキーになると思う。また、本計画で現状具体化されていない事業については、今後の経済情勢等を踏まえ柔軟に検討・実施していく。また、これとは別立てでコロナ対策に関する施策を掲げ、区内事業者の維持・継続支援を同計画に盛り込んだ。区としては産業融資、区立企業活性化センター及び中小企業診断士協会による経営相談、業態転換、設備導入等に対する補助金、人材確保・就労支援という4つの柱立てがコロナ対策の基本と捉えており、支援策を実施していきたい。